

科目区分	専門教育科目	科目名	介護過程Ⅲ		科目コード	17F560	担当者	田川 千秋			
対象学生	介護福祉士コース2年生	学期区分	前期	単位数	2	卒業要件	必修				
						免許・資格要件	介護福祉士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする						1. 「尽心」 誠実な人柄と人間力	2. 「創造」 高度な知性と創造力	3. 「実践」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・創造断力	⑤ 実行体力性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	事例と実習を通してアセスメントし、介護計画を立案する。										
2.	実習を通して介護過程を実践的に展開する。										
3.											
4.								◎	○		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（50%） 臨時試験（10%） 提出物（15%） 受講態度（25%）					
講義を中心とし、演習・視聴覚資料・教材を使用する											
準備学修						課題等への対応					
介護の基本・コミュニケーション・こころとからだのしくみ・生活支援技術など介護福祉専攻で学ぶ理解を深めてください。（目安の時間30分程度）						レポートのチェックと試験の評価と再試験による振り返り					
授業計画											
第1回	介護過程の意義と目的・目標を振り返る										
第2回	実習を通して情報収集とアセスメントを整理するためのチームアプローチについて考える										
第3回	実習から生活支援の課題、目標を整理するためにチームアプローチの方法を考える										
第4回	実習から生活支援の課題、目標を整理し課題解決に優先順位をつける										
第5回	実習から介護計画を立案し、チームアプローチについて、職種、内容など具体的に考える										
第6回	実習で介護計画を実施しチームアプローチについて考え、その介護計画が適切か考える										
第7回	実習から生活支援の課題、目標を整理し課題解決に優先順位をつけ、その根拠を説明できる										
第8回	実習から生活支援の課題、目標を整理し課題解決に優先順位をつけ、その根拠を説明できる										
第9回	根拠のある評価をし、記録に残す										
第10回	実習からアセスメントと介護計画を再検討できる										
第11回	根拠のある評価をして、他者に説明できる										
第12回	根拠のある評価をして、他者に説明できる										
第13回	評価した内容から再アセスメントし、介護計画を立案し直すことができる										
第14回	立案した介護計画に必要なチームアプローチについて、職種、内容など具体的に考える										
第15回	評価と介護サービス計画についてのその適性について根拠のある説明できる										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
新・介護福祉士養成テキスト「介護過程」 中央法規						実習において、生活者である利用者との人間関係を通して、自分らしく生活したいと望んでいる人の理解を深め、支援の方法とその理由を考えましょう。記録することを学びましょう					